

実績確認概要書

平成 22 年 3 月 11 日

審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	蒸気・ドレンの有効活用による省エネ事業
承認番号	JCDM-PJ0052
排出削減事業者名	株式会社 エクセル
排出削減共同実施事業者名	丸紅 株式会社 (その他関連事業者名：株式会社 洗陽システムソリューション)
事業実施場所	株式会社 エクセル (長野県松本市平田東 1 丁目 1 0 番 7 号)
事業の概要	スチームトラップの蒸気漏洩対策と放熱ロスの低減による CO2 削減を行う。
排出削減量の計画	228 t CO2/年 (事業実施期間合計 1,064tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2008 年 8 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 8 月 1 日～2009 年 12 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	273tCO2 (2008 年 8 月 1 日～2009 年 12 月 31 日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
<p>排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること</p>	<p>1)開始日の確認 承認排出削減事業計画通り 2008年8月1日に本事業が開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認した。</p> <p>2)対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画通り保温カバー他の省エネ対策が導入され稼働していることを、現地訪問及びエネルギー使用実績データより確認した。</p>
<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>1)モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、燃料流量計により計測が実施されていることを確認した。</p> <p>2)活動量の正確性 活動量は燃料供給会社からの請求書により把握しており、また、適切に記録、保管されていることを、質問及び記録されたデータにより確認した。</p> <p>3)単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。</p> <p>4)排出削減量算定方法及び算定結果の確認 本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結果を突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確である事を確認した。なお実施後の設備利用効率は蒸気の漏洩が無いものと見なし、100%としていたが、期間中の点検により蒸気漏洩が発見されたため、漏洩分を差し引き設備利用効率を</p>

	98%に変更し、削減量を計算していることを確認した。
算定期間が2013年3月31日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2008年8月1日から2009年12月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2013年3月31日を超えないことを確認している。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの変更点が発生していないことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算100.9KLであることを確認した。

以上